News　Release

報道各位

2021 年 4 月 2 日
公益財団法人　泉屋博古館

# 泉屋博古館分館「泉屋博古館東京（せんおくはくこかんとうきょう）」への館名変更と リニューアル工事について

公益財団法人泉屋博古館は、2021 年 4 月より東京・六本木の泉屋博古館分館の館名を「泉屋博古館東京」に変更します。

当館は、2020 年 1 月より改修工事のため休館しています。開館 20 周年を迎える 2022（令和 4）年 3 月にリニューアルオープン予定です。

完成予想図

## 1．館名の変更

**泉屋博古館東京**　せんおくはくこかんとうきょう
（英字　SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO）

当館は泉屋博古館（京都・鹿ケ谷）の分館として、2002 年 10 月、東京・六本木一丁目の住友家旧麻布別邸跡地に開館しました。以降 18 年間にわたり、館蔵の近代絵画や工芸品、茶道具などをご紹介する展覧会や、京都本館所蔵の住友コレクションの名品を東京で展観する特別展を企画し、東西両館のシナジーを生かした活動を続けてまいりました。

開館 20 周年に向けた今回のリニューアルを機に、京都・東京という両国際都市にて住友コレクションの魅力をさらにお楽しみいただけるよう、当館の名称を「泉屋博古館東京」に変更します。

## ２． リニューアル工事概要

当館は 2019 年末の「金文」展終了をもって長期休館期間に入り、2020 年 4 月 1 日より改修工事に入りました。新型コロナウイルス感染症への十分な対策を講じながら、工事は順調に進んでおり、現在計画通りの進捗となっております。

今回のリニューアル工事では、展示スペースの拡大とともに、カフェやミュージアムショップ、講堂などを新設し、ゆとりある鑑賞空間にてより満足度の高い時間をお過ごしいただける美術館として再出発いたします。六本木一丁目のビジネスエリアのなかで、豊かな緑に囲まれた安らぎの場として、今後も多くの皆様に親しんでいただけるような活動をしてまいります。

《建築概要》

建 築 主：公益財団法人　泉屋博古館
所　　在：東京都港区六本木 1-5-1
建築面積：１，０９９．３０㎡
延床面積：１，７４０．１１㎡
階　　数：地上 1 階、地下 1 階
構　　造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
施　　工：三井住友建設株式会社
設　　計：株式会社日建設計

公益財団法人 泉屋博古館について

泉屋博古館は住友家が蒐集した美術品を保存、公開する美術館です。
第 15 代当主住友春翠が明治中頃から大正期にかけて蒐集した中国古銅器と鏡鑑を保存公開するための財団法人として 1960（昭和 35）年に発足、1970（昭和 45）年には京都鹿ヶ谷の地に 4 室からなる青銅器と鏡鑑の展示室が完成しました。泉屋博古館の名称は、江戸時代の住友の屋号「泉屋（いずみや)」と 900 年前に中国で皇帝の命によって編纂された青銅器図録『博古図録』からとっています。その後も住友家から数々の美術品の寄贈を受け、現在収蔵品は 3500 点以上を数えます。また、収蔵品の増加に伴い、1986（昭和 61）年に青銅器展示館の傍らに新展示室を増築、2002（平成 14）年には東京六本木に分館を開設いたしました。

**本件に関するお問い合わせ**
公益財団法人泉屋博古館
担当：泉屋博古館東京　広報　橋本旦子
電話 : 03-3584-8136　　FAX:03-3584-8137　E-mail : a.hashimoto@sen-oku.or.jp